古志福祉だより

第93号
令和６年７月
古志地区社会福祉協議会
TEL 21−0925
FAX 21−1066

ふれあいと　みんなが　笑顔の　まちづくり

会長就任のご挨拶

会長　山根　里司

この度、福祉委員会の推薦により、古志地区社会福祉協議会会長に就任いたしました。地区の皆様のご支援ご協力をいただきながら微力ではありますが、精一杯尽力してまいりますのでよろしくお願い申しあげます。

昨年5月より新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにともない社会活動が活発化しておりこの喜ばしい状況が続くことを願っています。

さて、本協議会では、今年度も乳幼児から高齢者まで幅広く支援を行ってまいります。少子高齢化が加速する中、高齢者が孤独感を持たないよう地域の人との繋がりを持ち気軽に相談、利用していただける協議会であり続けたいと思っております。そして「**ふれあいと　みんなが笑顔の　まちづくり**」に向かって努力してまいります。

最後に古志地区の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげ、就任のご挨拶といたします。

退任のご挨拶

三谷　進

向暑の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、古志地区社会福祉協議会会長の職を退任いたしました。

会長在任中は、公私とも格別のご厚情とご支援を賜り誠に有難く厚くお礼申し上げます。

古志地区の皆様の温かいご支援、ご協力があってこそ古志地区社会福祉協議会のそれぞれの活動を共に支えられたことに深く感謝を申し上げます。

皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

地区社会福祉協議会の発展と古志地区の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、退任のご挨拶とさせていただきます。

今後は山根里司新会長になり古志地区社会福祉協議会は、皆様のご支援ご協力により更なる発展へと期待をし、私自身もこれからも色々な面で協力をしてまいります。

最後になりますが、今後とも古志地区社会福祉協議会の発展と古志地区の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

ふれあいとみんなが笑顔のまちづくり

副会長　林　伸

平素から、古志地区社会福祉協議会の活動に対しまして格別の御理解と御支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

この度の役員改選で副会長（民生児童委員部長兼務）に選任されました。微力ではありますが、他役員とともに当会の活動推進に専心努力してまいります。

御案内のとおり、全国的に少子高齢化が進行しています。古志地区においては、最新の出雲市データによれば高齢化率は35・4％で出雲市全域の平均値29・7％を上回っています。また、全世帯に占める高齢者のみの世帯割合をみると、古志地区は33・9％で出雲市全域の27・1％を上回っています。一方、近年は新興住宅地での子育て世代の転入も増えています。

古志地区社会福祉協議会は、「ふれあいとみんなが笑顔のまちづくり」を福祉目標として、皆さんが住み慣れた地で安心して生活することができる「福祉のまちづくり」の実現を目指して活動しています。具体的には、乳幼児教室、高齢者いきいき教室をはじめ、世代間交流事業やふれあいサロンの開催など未就園児から高齢者の方までそれぞれの年代層に応じた各種事業を行っております。

開催のお知らせは適宜行っておりますので、皆様の御参加をお待ちしています。

古志ひとめぐり～今年も出かけました～

■さくらんぼサロン部　部長 高橋悦子

さくらんぼサロンでは、今年度もやさしい物づくり、教養となる講座あれこれ、古志幼稚園児との七夕・クリスマス交流などを計画し、４月よりスタートしました。5月27日（月）には「古志ひとめぐり」として今年もジャンボタクシーでお出かけしました。昨年は、コースに入っていなかった出雲エネルギーセンターにまず行き、建物の外観と高い場所から見る景色に満足。それから、ロマン街道を東へ進み、馬木大橋西詰から神戸川土手を走り、お隣の下古志町にある弘法寺へ。お参りをして、池の大きな鯉にビックリしながら、話がはずんでコミセン到着。一時間は、あっという間でした。ふるさと古志をまたまた身近に感じてもらえたと思います。

さくらんぼサロンでは、参加される方とスタッフで一緒に話し合い、無理のない活動を進めています。どうぞ、お気軽にいらしてください。

■ウォーキングと花の鑑賞

高齢者部　部長 横木行夫

5月31日、ノルディックウォーキングを行いました。この運動は、両手に一本ずつポール（棒）を持ち交互に前後させ体を支えながら歩くものです。当日は18名の皆様にご参加いただきました。

最初に徳連町内の船木幸雄様のご指導により、二本のポールを使って準備運動を行った後、早速目的地の「花の郷」まで歩き、小休憩をはさんで約40分で到着しました。今年の花の郷には、NHK連続ドラマ「らんまん」の主人公、牧野富太郎博士にまつわる植物の数々が展示されていました。樹脂粘土で創られたそれぞれの作品は、まるで本物の植物のように凛としており、触れてみたくなるような思いでした。様々なグループで、整然と咲きそろう色鮮やかな花々を眺めながら、それぞれ館内外を散策しました。帰りは来た道をそのまま折り返し通って、無事古志コミセンに着くことが出来ました。

講師としてお世話になりました船木幸雄様には心から感謝申しあげます。

■りんごちゃん教室

乳幼児部　部長 三谷裕美子

古志地区社会福祉協議会の乳幼児部では、平成10年から「りんごちゃん教室」を開催しています。昨年度は10回実施、延べ71組の親子が参加されました。七夕会やクリスマス会では「てての会」の人形劇で楽しみました。また3B体操・ミニ運動会・音あそびでは親子で体を動かしてふれ合いをしました。さらに花の郷へお出かけしたり、絵本の世界を楽しみリフレッシュしました。なにより楽しみなのが乳幼児の成長で、毎回保健師による計測やお話をしてもらっています。最終月には「りんごちゃん」を卒業する幼児にプレゼントを渡したり、栄養士によるクッキング教室で成長をお祝いしました。

今年度も親子で楽しめる企画をしていますので、1回でも参加してみませんか。地区外の方も大歓迎ですので伝えてください。保育園・幼稚園に入園されるまで、「りんごちゃん教室」で仲間づくりをしましょう。乳幼児部7名は古志地区の子育て応援団です。「りんごちゃん教室」で皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

俳句五七会

代掻きし田毎の月の美しさ　高橋　美夫
白鳥が農夫の後先つれて飛ぶ　宮廻千代子
茶の芽見つ母の背思う五月空　原　小夜子

地域福祉部　部長　槇原　茂

「ふるさとは遠きにありておもうもの……」とは、大正・昭和の詩人、室生犀星の詩句だそうです。広島、松江が長かったので、実際にはそれほど離れていたわけではありませんでしたが、四十代で実家に戻ってからも地元の方々と接する機会は限られていました。正直に告白すれば、当初は町内会のさまざまな役ですら、できれば避けたい気持ちが強かったように思います。

そのような私がこの度、古志地区社会福祉協議会からご依頼を受け、地域福祉部長に就任いたしました。朝ドラの寅子流に「はて？」と口にしたくなる一方で、長らく疎遠だった故郷、古志に対して多少なりともお役に立てる機会をいただいたことに感謝しています。

三谷進前会長、ならびに山根里司会長をはじめ、諸先輩のご貢献に学びながら、微力を尽くしたいと思っています。どうぞよろしくお願い申しあげます。

この「古志福祉だより」は、「出雲市社会福祉協議会の会費、寄附金及び共同募金を財源とした出雲市社会福祉協議会地区社協等活動総合支援事業の助成金」を財源の一部として発行しています。